

北島 隆（きたばたけ・たかし）

1、プロフィール

詩人、医学者。昭和 23 年頃から、詩作を始める。同人誌「蟻部落」を創刊。24 年弘前市を離れ、広島市、名古屋市、新潟市に居住。同人誌「ぷれるうど」等で創作活動をした。

<生没>

1928(昭和3)年5月6日～1977(昭和 52)年6月6日

<代表作>

詩集『副交叉路』

<青森との関わり>

南津軽郡浪岡町に生まれる。24 年4月まで、青森県に在住。詩作活動をし、作品を発表した。

2、作家解説

詩人、医学者。本名大森隆。昭和3年、南津軽郡浪岡町に生まれる。23 年、弘前医科大学第1回生として入学。この頃から詩作を始める。24 年、布施清一・松川規一らと、ガリ版印刷の同人詩誌「アモルフス」を編集・発行する。26 年、「火山脈」・「弘前文学」・「呼子」の同人となる。27 年、弘前医科大学卒業。松川規一編集の卒業記念誌『塔影』にアフォリズム風の詩「一人の足跡」を発表。同年9月、同人誌「蟻部落」を布施清一・松川規一・小岩尚好らと創刊、編集人となる。11 月、弘前大学医学部放射線教室助手になる。地方新聞にも作品を投稿する。29 年4月、広島米国原爆障害調査委員会放射線医学研究室勤務のため、広島市に移る。同年、同人誌「リゲル」、30 年「デルタ」、31 年「ぷれるうど」に参加する。32 年、名古屋大学放射線医学教室助手となり、名古屋市に移る。37 年、同人誌「中部日本詩人」に参加する。42 年、新潟大学医学部放射線科教授となり、新潟市に移る。50 年、新潟日報文化賞受賞。52 年6月6日、肺癌のため死去。53 年6月、

遺稿集『海の青・空の蒼』(考古堂)、11 月、遺稿集の詩集『副交叉路』(ふれるうど詩社)が刊行された。

3、資料紹介

○詩集『副交叉路』

図書

1978(昭和 53)年 11 月 15 日

217mm×152mm

発行所ふれるうど詩社。昭和 28 年～37 年までの作品を収録。本文の内容は、「広島の旅人」、「副交叉路」、「昨日について(散文)」からなる。序、高橋信次、跋、高木恭造・藤沢弘芳・佐藤忠善・大原三八雄・北畠桂子。